

発行所 安来節保存会

〒692-0064
島根県安来市古川町534
TEL 0854-28-9988
FAX 0854-28-9393
https://www.y-hozon.com/
E-mail:admin@y-hozon.com

十神山



会報 安来節

YASU GI BUSHI

上位昇格者

准名人(二名)



石本 紀美子
唄の部
(益田)



中村 瑞子
唄の部
(東海)

大師範(六名)

- | | | | | |
|---|---|---|-----|-----------|
| 絃 | 安 | 達 | 富美子 | (本部道場) |
| 絃 | 岩 | 佐 | 勝雄 | (本部道場) |
| 踊 | 一 | 字 | 川 | ゆき (本部道場) |
| 鼓 | 三 | 代 | 目 | 福太郎 (加茂) |
| 鼓 | 安 | 達 | 英 | 三 (広島東) |
| 踊 | 一 | 字 | 川 | 普 (天江戸) |

(代議員会資料名簿順)

11月8日に開催された安来節保存会代議員会において、令和7年度の上位昇格者と表彰者、感謝状贈呈者が報告されました。今回、准名人に2名、大師範に6名の方が昇格されました。おめでとうございます。来年度の1月13日(月・祝)の唄い初め会において、免状・表彰状の授与と昇格披露を行います。

会員表彰者

(三十名)

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------|--------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 青根 | 竹 | 安 | 森 | 土 | 磯 | 井 | 藤 | 川 | 岡 | 長 | 小 | 山 | 猪 | 西 | 原 | 菅 | 三 | 山 | 本 | 赤 | 檀 | 山 | 高 | 荒 | 藤 | 増 | 渡 | 武 | 秋 | |
| 戸 | 下 | 食 | 山 | 江 | 山 | 田 | 美 | 美 | 正 | 祐 | 美 | 美 | 幸 | 幸 | 幸 | 幸 | 幸 | 幸 | 幸 | 幸 | 幸 | 幸 | 幸 | 幸 | 幸 | 幸 | 幸 | 幸 | 幸 | 幸 |
| 守 | 己 | 子 | 子 | 子 | 子 | 子 | 子 | 子 | 子 | 子 | 子 | 子 | 子 | 子 | 子 | 子 | 子 | 子 | 子 | 子 | 子 | 子 | 子 | 子 | 子 | 子 | 子 | 子 | 子 | 子 |
| (本部道場) | (本部道場) | (湖) | (湖) | (湖) | (湖) | (湖) | (湖) | (湖) | (湖) | (湖) | (湖) | (湖) | (湖) | (湖) | (湖) | (湖) | (湖) | (湖) | (湖) | (湖) | (湖) | (湖) | (湖) | (湖) | (湖) | (湖) | (湖) | (湖) | (湖) | (湖) |

感謝状贈呈者 (二名)
矢倉哲郎さんは、九月十二日付で資格審査員を辞任されました。(代議員会資料名簿順)

ねんりんピック 鳥取大会



田中 美幸
(本部道場)

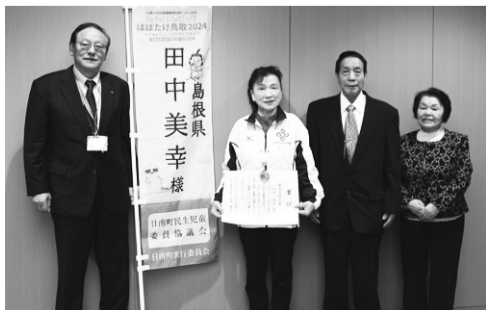
第三十六回全国健康福祉祭とつとり大会(ねんりんピック)は、十月二十日に鳥取県日南町(民謡の部・会場)で開催されました。唄は、六十歳以上で出場可能なうえ、開催場所も比較的近いという情報から、せっかく安来節を習って続けているんだから出してみようと思ひ、すぐに申し込みをしました。

三味線、鼓の方も決まり、三人での練習となり、一人の持ち時間三分に全力投球。素唄、字余りて三分以内に収まるように伴奏者にも工夫してもらい、家元四代目渡部お糸先生の指導のもと、何回も何回も繰り返しの練習です。本部道場の皆さんからの応援もあり、プレッシャーを感じながらの出場となりました。

大会前日の開会式は、鳥取県立布勢総合運動公園陸上競技場で開催予定、前々日の快晴はどこへやら。開会式は、朝から酷い雷雨となり、外での開会式は変更され、屋内での開催となり、私自身楽しみにしていた入場行進も中止となってしまい、一日中雨の中で気分も盛り上がり、欠けてしまっていました。

でも、この雨の中、全国からの三十四種目の選手の集まりは、明日からそれぞれの会場に行く競技者です。そして、大会当日、雨は止み、日南町へと行きました。控室では、安来節保存会の他支部の選手の方の姿もチラホラ見え、心も和みました。開催地が近いとはいえ、わざわざ本部道場数名の方が現地まで応援に来てくださり、ありがたく感じました。

私は、午後の部の出場で、一番になると客席から「がんばって」と、大きな声援が聞こえて心の中で「ありがとう」と言いたく



ながら、マイクのの前へ立ちました。出だしの三味線が良い響き、鼓も丁度いい間合いで「カツボン」と気持ち盛れ上げてくれて、私の声もよく出たように感じながら唄い、終わりのあたりで「ありがとうございました」のアナウンス、「あっ、三分だ」となりました。控室に帰る廊下で「失格だねー」なんて言いながら、三人は複雑な気持ちでショボン、後から聞いたら唄も調子良く、三味線も調子にのり、少し間奏が長めになったらしい。

五十六組全員が唄い終わり、結果発表の時、最優秀賞一名、優秀賞二名、審査員特別賞三名の中から、審査員特別賞で三位銅メダルを頂き、「あー、良かったあ」と胸をなでおろしました。本当に皆さんに応援していただき、二人の伴奏者に感謝です。ありがとうございました。

健康と福祉の輪が広がっていく事を意味する「ねんりんピック」開催地の鳥取県らしさ、日南町らしさの良さを充分に満喫する事ができ、今までに感じたことのない民謡のすばらしさを見つめました。

最高年齢出場者の九十六歳男性にビックリ、この方のように、味わい深い唄が唄えるように、これからは唄い続け、年齢にかかわらず心身を鍛え、生き甲斐を感じながら全国スポーツ文化交流の輪に感謝したいと思ひます。

私と安来節

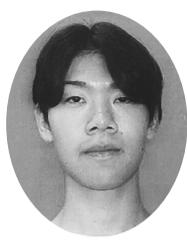
安来節を始めてから半世紀



渡部 二郎 (松江支部)

安来節を習い始めて今年で五十一年が過ぎました。特に三味線に力を入れて習い、今日に至りました。三味線、これ私なりに思う事は、縁の下の力持ちに徹する事、唄いやすい、打ちやすい、踊りやすい三味線をひく事を頭において稽古してきました。私の師匠が言った事に「人は唄ったり、踊ったりしているところを聞いたり見たりしているが三味線を聞いている者はおらん」と、本当にそうだろうか、でも唄、鼓、踊りには、三味線が

私と安来節



今岡 竜希 (神門支部)

私に通っていた小学校では、隔年で安来節・銭太鼓を学習発表会で披露する伝統がありました。小学一年生の頃、そこでどじょう掬いを踊ったのが私と安来節の出合いでした。その後、三年生に上が



必要ではなからうか、しかし三味線を聞いてもらおうと、どんどんひくと時には邪魔になりかねない。師匠が言った「唄い手が唄っている時は、どんどんひかず、間を取りながらトントンといわせておれば良い」すなわち「音のしない三味線をひく事だ」と、音のしない三味線をひくとは、これ難しい話で、私なりに考えての事だが、糸を打つ前にツボを指でおさえ間を取ってからトントンと打って音を出す様にひく事、それと唄う人、打つ人、踊る人の技術に合わせ、初心者には、基本の手、上級者には、その人の技術に合わせて、色々と手をかえてひく様にしています。先に手をかえると云いましたが、これは、唄う人、歌詞、それぞれ異なる場合、これに対して「手順」「ひき方」をかえてひくこと、師匠いわく「唄い手が十本唄えば十本とも違う手順でひく事」と、それを聞き、私も色々な手順を覚え

る前、どじょう掬いを習っていた友人に誘われ、教室に入りました。ただ、踊り自体に興味があったわけではなく、「おやつが出る」という小学生らしい下心で習い始めました。人前に出ることは苦手ではなかったのに、緩く楽しく続け、色々な舞台にも立たせていただきました。中学に上がると教室の先生に勧められ、鼓と三味線を始め、高校では銭太鼓、二年前からは唄も始め、今ではどじょうりと安来節の世界に浸かっています。そんな私にとって安来節は、かけがえのないものになっています。小さい頃は、先生に言われた通りに踊っているだけでしたが、お客

る様に稽古してきました。そして、安来節(三味線)を始めて五十年が過ぎて今日、八十歳を過ぎると往年の技倆も発揮出来ませんが、そこそこの技倆がごまかし程度で発揮出来る様に毎日頑張つて稽古しています。何をしているかと言いますと、まず調絃で、より早く正確に出来るか、バチが正確に打てるか、ツボが正確に抑えられるか、これを毎日十分か十五分程度やっています。そして支部の定期練習会に参加し、稽古しています。色々話しましたが、今後、体力的にいつまで三味線をひけるかわかりませんが楽しくやっています。いいですが、私の三味線で良かったら、唄うから、打つから、踊るからひいてくれと言われる方がいれば喜んでひかせてもらいます。その時のために頑張つて稽古しております。

さんを笑顔にする喜びを知ってから、自分なりに工夫して踊るようになりしました。そうして試行錯誤の末、お客さんが笑ってくださり、「よかったです」と言っていただけのこと何よりも嬉しいのです。また、安来節での経験が日常生活や仕事にも役立っています。たくさん舞台に立った経験のおかげで人前に立つ抵抗感がほとんどなくなりましたし、色々な人にも出会うことが出来ました。安来節をしていなくたら得られていない経験がたくさんあります。これからもつとたくさんの人の笑顔を見るために稽古を続け、安来節以外の民謡にも挑戦していきます。

令和六年度 第二十四回少年の主張 出雲市大会 出場



中学三年生 大國こはな (湖陵支部)

出雲名物 荷物にならぬ 聞いてお帰れ 安来節

皆さんは、島根県の民謡の一つである安来節を知っていますか？安来節は、江戸時代中期に始まり、現在も親しまれている日本の伝統文化の一つです。数ある日本の民謡の中でも、唄うことが最も難しいと言われていきます。それは、音階の高低差が大きく、発声がとて難しく、どじょうすくい踊り、銭太鼓の調子は、早いテンポとなつたり、私には、まだまだ手の届かない奥の深い唄だと感じています。私は、小学校二年生から習い始めました。安来節保存会三味線の准名人だった曾祖父の愛用していた三味線を父が受け継いだことがきっかけで、今は、家族全員が親しんでいます。初めて教室に行つた時、年配の人ばかりで若い人は一人もいませんでした。その時は、来なければよかったと思いましたが、でも、みなさんの唄を聞きながら、少しずつ声を出し、ちよつとだけ唄えたら、ほめて下さつたり、先生から一生懸命教えていただき、「もつと上手になりたいなあ！」と思うようになりました。教室のお年寄りさんからは、いつも笑顔で「来てくれて、ありがとう」と温かく迎えて下さいます。

初めて老人ホームに慰問に行つた時、着物を着せてもらつて、髪飾りをつけて、いつもと違う環境で唄うことに、とても緊張し、ドキドキしながら唄い始めると、お

じいさん、おばあさんが手拍子をうって下さいました。中には涙を流している人もいました。自分達の唄で元氣を出してもらえらんだなど、うれしくなりました。また、地域の祭りなどに出席させてもらうことがありますが、一緒に唄う人達もあり、安来節には年齢、性別を問わず、人を感動させる力があるんだなと思えました。また、年に一度の「安来節全国優勝大会」には、唄、三味線、鼓、踊、銭太鼓を習っている人達が、全国から集まり、技を競い合う大会です。この大会を目標に、みんな一生懸命練習します。

私は、小学生の時、この大会に初めて出場しました。父、母、二人の兄達は、優勝や入賞をしましたが、私一人入賞出来ませんでした。悔しいというより、悲しかったです。でも、やめませんでした。二〇二三年に四年ぶりに開催された大会に出場し、練習の時は、思うように声が出なくて、自信が持てませんでした。伴奏の三味線の音色が気持ち良く聞け、自然と声が出ました。結果、優勝！本当にうれしかった。今年は、部活との両立で大変でしたが、「よし、楽しんで唄うぞ」と思い切つて、声を出し、優勝することが出来ました。でも、この大会に出場する子供の数が、年々減っています。競い合うライバルも少なくなつて、このままでは伝統文化が一つ消えてしまうかもしれません。

私は、安来節を通して、他の地域の人と交流をもつことが出来ました。唄う人、踊る人、それを聞く人、見る人、みんな笑顔にしてくれます。そんな安来節が、私は大好きです。それが、これからも続けていきます。それが、大切な伝統文化である安来節を受け継いだ私の使命だと思っています。私達、若い世代が歩んでいく将来へ、希望を繋ぎたいです。

事務局からのお知らせ

- 訂正 P122 北陽支部 ◆一級 唄 川上彩音
- 追加 P124 壇東支部 ◆三級 銭太鼓 砂川 潔
- 追加 P124 智頭支部 ◆三級 唄 坂本夕理

大師範以上研修会DVD販売のお知らせ

令和6年11月10日に安来節演芸館で開催された「大師範以上研修会」を収録したDVDを販売いたします。昨年に続き、大師範以上研修会において、講師を務めていただいたのは、石田信夫氏。石田氏は、中国新聞社に勤務され、著書「安来節」を出版されるなど、安来節を長きにわたり、取材してこられた方です。今年は、「安来節 歌いつなぐには」をテーマに講演をしていただきました。その模様を収録したDVDを1枚1,000円(税・送料込み)で販売いたします。今後も安来節を後世につないでいくための貴重なお話が視聴できますので、ぜひともお買い求めいただき、参考にしていただければ幸いです。

感動を呼ぶ 音色と 響き 丹念な加工 調整 仕上げ

(有)仁ホ三味線

製造・販売/修理 三味線・鼈甲撥・尺八・太鼓

〒240-0022 神奈川県横浜市保土ヶ谷区西久保町197-1
TEL 090(5782)7408 FAX 045(741)4796
HP <http://www.syamisen.com/>